学校番号	405

令和８年度　家庭科

教科	家庭科	科目	(学)家庭発展	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	家庭総合（実教出版）						
副教材等	「家庭総合」（実教出版）「ニュービジュアル家庭科資料＋成分表 2025」（実教出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・ワークショップや演習を通して、身近な生活の課題への解決策や自分にできることを友だちと共同しながら考え、持っている知識をさらに深めましょう。
・実践的・体験的な学習を通して、科学的な理解と技術を身につけ、さらに実生活に活用できる手立てを考えます。
・学んだことを、将来の進路や生活に生かし、よりよい生活をめざします。

2　学習の到達目標

a. 家族・家庭、衣食住、消費や環境、生活文化など、生活を主体的に営むための理解を図り、それらにかかわる技能を体験的・総合的に身につけるようにする。
b. 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを科学的な根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。
c. さまざまな人々と協働し、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	人間の生涯にわたる発達と生活の営みを発展的にとらえ、家族・家庭、衣食住、消費や環境、文化など、生活を主体的に営むための総合的な理解を深め、生活を主体的に営むために必要な知識とそれらにかかわる技能を身につけている。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の現状について見直し、見いだした問題から課題を設定し、実践を評価・改善し、考察したことを科学的な根拠に基づいて論理的に表現するなど、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し、工夫・創造する能力を身につけている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	食品の特徴・安全	・食品の選択と表示 ・食品の衛生と安全 ・食品の生産と流通	a:調理を前提として、よりよい食品を見きわめ、食品を衛生的に取り扱うことができる。食品の生産・流通・加工などの現状が理解できる。食品の衛生と安全に関する知識を身につけている。 b:輸入食品や加工食品など、多種多様な食品の中から、目的に応じて適切な選択ができる。食品について、安全や衛生に配慮した適切な判断ができる。食品の生産・流通・加工などの現状における課題について考えをまとめ、レポートを通して発表することができる。 c:食品の生産・流通・加工などの現状に関心を持とうとしている。食品の表示・衛生に関心を持とうとしている。	・確認テスト ・調理実習 ・実技テスト ・課題レポート	・確認テスト ・グループワーク ・実習レポート	・授業観察 ・ワークシート ・持ち物チェック
	食事の計画と調理	・テーブルマナー ・テーブルコーディネート ・献立作成 ・全国高校生料理コンテストへの参加	a:様式別の食卓構成や食卓作法、供応に伴うマナーを身につけることができる。目的に応じた食器・盛り付け・テーブルクロス・照明などについて適切な取り扱いができる。食事のテーマに応じた献立作成、食品材料の選択と調理など、一連の流れを計画することができる。 b:食器・盛り付け・テーブルクロス・照明などについて、目的に応じた適切な選択ができる。具体的な食事テーマを設定し、その目的に応じた献立を考えることができる。 c:地域の特産品ついて、特徴に関心を持とうとしている。季節や行事、食事の目的などに応じて食卓を演出しようとする意欲・関心が感じられる。			

2学期	子どもの発達の特性	・発達と乳幼児期の意義 ・乳幼児の生活と健康 ・親子交流学習 ・保育玩具の製作	a:乳幼児の身体的特徴と生理的特徴及びその変化に関する知識を身につけている。子どもの精神的発達の特徴と発達の過程について理解している。発達段階に応じた乳幼児の食事をつくることができる。発達段階を踏まえて乳幼児の発育・発達を促す玩具をつくることができる。安全に配慮し、子どもと適切にかかわることができる。 b:子どもを取り巻く環境が子どもの発達に大きな影響を与えることをふまえ、発達段階に応じた接し方・援助の仕方・適切な保育環境整備について自分の考えをまとめることができる。 c:乳幼児期の子どもに関心を持ち、乳幼児期の特徴を理解しようと積極的に取り組もうとしている。	・確認テスト ・保育実習	・確認テスト ・グループワーク ・製作作品 ・実習レポート	・授業観察 ・ワークシート ・持ち物チェック
	支えあう社会	・現代社会の抱える問題 ・自助・互助・公助・共助 ・高齢社会を支えるしくみ	a:共生社会と福祉について理解し、生涯を通して家族・家庭の生活を支える福祉や社会的な支援が果たす役割を認識するための知識を身につけている。自助・互助・公助・共助について理解し、防災食・災害食などを調理する技術を身につけることができる。高齢期を支える社会的な制度・しくみについて理解している。高齢者の生活における地域社会の役割・地域福祉の重要性について理解できる。 b:共生社会を成立させるための課題を見いだし、その解決をめざして社会の一員として何ができるか考え、レポートなど通して発表することができる。 c:共生社会と福祉について、家庭や社会の一員として関心を持ち、意欲的に取り組もうとしている。介助実習において積極的に参加し、高齢者の状況を把握しようとしている。	・確認テスト	・確認テスト ・グループワーク ・実習レポート	・授業観察 ・ワークシート ・持ち物チェック

3学期	食文化の伝承	・料理様式と献立 ・世界と日本の 伝統的な食文化	a:日本料理、西洋料理、中国料理等それぞれの様式に応じた食卓構成や作法を理解することができる。具体的なテーマの設定、目的に応じた献立作成、献立に適した食品の選択、食品の調理性をふまえた適切な調理について理解できる。無形文化遺産に登録された和食の魅力を理解することができる。 b:具体的な食事テーマを設定し、その目的に応じた献立を考えることができる。作成した献立に適した食品を選択することができる。食事のテーマにふさわしい食卓の整え方や周囲の環境を判断することができる。 c:食事のテーマにふさわしい献立や食卓の整え方、周囲の環境づくりに意欲的に取り組もうとする態度がある。	・確認テスト　・調理実習　・被服実習	・確認テスト　・グループワーク　・実習レポート	・授業観察　・ワークシート　・持ち物チェック
	衣文化の伝承	・日本の衣生活の文化 ・持続可能な衣生活	a:衣服の布地について理解するとともに、現在の衣生活、衣服の文化にはどのような特徴があるかを理解できる。不要となった衣類について、リサイクルに回す、作り変えるなど、実生活において実践することができる。 b:現在の衣生活を取り巻く状況について、自分の衣生活を振り返りながら、課題を導き出し、その解決に向けて自分の考えをまとめることができる。 c:衣生活の管理・購入・選択について主体的に行うことや、日本の伝統文化である和服に関心を持ち、実習に積極的に取り組んでいる。			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度